

秋の火災予防運動を実施します

問い合わせは 消防局予防課 ☎027-220-4507

11月9日(日)から15日(土)まで秋の火災予防運動を実施。一人一人が防火について考え、大切な命と財産を火災から守りましょう。

■住宅用火災警報器の設置を

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。消防局では、住宅用火災警報器を購入しても取り付けが困難な高齢者家庭を対象に、職員が訪問して取り付けの支援をします。

対象機種＝電池式のもの（無線式のもの取り付けできません）

申し込み＝最寄りの消防署・分署へ

■住宅火災を防ぐ7つのポイント

①寝たばこは絶対にしない②ストーブは燃えやすいもの

のから離れた位置で使う③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す④住宅用火災警報器を設置する⑤寝具や衣類などは防災品を使用する⑥住宅用消火器などを設置する⑦近所との協力体制をつくる。



■放火防止対策

①家の周りを明るくする②家の周りに燃えやすい物を置かない③物置などには鍵を掛ける④留守中に新聞などをためない⑤ごみは指定された日時に出す。

■防火ポスター入賞作品を展示

期日＝11月16日(日)まで

会場＝けやきウォーク前橋（文京町二丁目）

赤城山登山で「もしも」のときに

問い合わせは 消防局警防課 ☎027-220-4511

赤城山の各登山道に、登山者の位置が特定できる看板が設置されています。登山中にけがをした場合などには、看板に表示されている山の名前と番号を局番なしの119番で伝えてください。



差し押さえ不動産・動産を公売します

問い合わせは 収納課 ☎027-898-6230

滞納処分で差し押さえた不動産と動産を右表のとおりインターネットで公売します。詳しくは、本市ホームページをご覧ください。

公売期間＝〈不動産〉11月25日(火)午後1時～12月2日(火)午後1時 〈動産〉11月25日(火)午後1時～27日(休)午後11時

動産下見会＝11月10日(月)～14日(金)、午前9時～午後4時。市役所収納課で

申し込み＝11月5日(水)午後1時～18日(火)午後11時にヤフー官公庁オークション (<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp>) で

公売不動産の概要				
所在地	種別	面積	最低公売価額	
堀越町	宅地・物置	土地	1,951.25㎡	502万円
		建物	182.75㎡	
富士見町小暮	宅地・居宅	土地	316.84㎡	387万円
		建物	117.04㎡	
江田町	畑※	土地	246㎡	910万円
西大室町	雑種地	土地	2,045㎡	358万円
長岡市寺泊上田町	マンション	建物	36.11㎡ (専有部分、敷地権有)	37万5,000円
下大島町	宅地	土地	165.01㎡	102万円
元総社町	宅地・居宅	土地	162.34㎡	890万円
		建物	108.82㎡	

※現況は非農地

公売動産の概要		
品目	発行元、動産詳細	最低公売価額
JTBナイスギフト券(JCB取り扱い)	株式会社ジェイティービー 1,000円券×2枚(額面2,000円)	1,700円
ベシアグループ商品券	株式会社ベシア 1,000円券×8枚(額面8,000円)	6,800円
フレッセイ商品券	株式会社フレッセイ 1,000円券×4枚(額面4,000円)	3,400円
バッグ(中古)	ダチョウ革様 1個	1,000円
バッグ(中古)	水牛革様 1個	2,000円



旧関根家住宅（大室公園内）

前橋市を特徴付ける建造物の一例として、養蚕・製糸関係の建物や倉庫などがあります。総2階建てまたは2階の方が1階より少し広い養蚕農家で、1階は住居、2階は蚕室となっています。屋根に天窓（やぐら）を備えることにより、通風や採光を良くしています。

第13回テーマ 前橋市の建造物
講師 前橋工科大教授・星和彦さん



前橋市の歴史文化遺産を活用した地域づくりの担い手となる「前橋学市民学芸員」。このコーナーでは、すでに開催された養成講座(第1期)の内容の一部を紹介します。

問い合わせは 文化国際課 ☎027-898-6992

なお、木造で2階の方が広い建造物は珍しく、このような養蚕農家は群馬県のほか、埼玉県や長野県に見られます。また、大室公園内に移築された旧関根家住宅は、屋根の正面中央部を切り落とすことにより同様の効果を得ています。ほかに、担保物件として集められた繭や生糸を保管した旧安田銀行担保倉庫もあり、前橋市の養蚕・製糸業が盛んであったことを伝えています。

このほか、商業で栄えていたことが分かる蔵（倉庫）やキリスト教諸教派による群馬伝道の拠点であったことを示す教会なども、前橋市を特徴付ける建造物といえます。

建物だけではまちを形成できません。建物と路地、そしてそれらを取り巻く道があります。まちを特徴付けるものは何かを、そのまちを歩いて自分なりに感じる大切が大切です。

シネマまえばしで無料の映画鑑賞



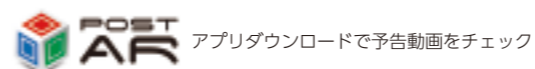
前橋ステージ・コミッション事業の一環で、毎週火曜に名画や旧作、前橋ゆかりの作品を中心に取り扱う映画の定期上映会「かようシネマ」を開催します。

日時＝①11月18日(火)②25日(火)、午前11時・午後7時

会場＝シネマまえばし（前橋プラザ元気21別館内）

内容＝①は「陽のあたる場所」②は「シーン」

問い合わせは まちなか再生室 ☎027-230-8866



「花燃ゆ」放映決定記念企画



あなたの疑問に答えます！

平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、吉田松陰の妹で、初代群馬県令・榎取素彦の妻となる文が主役です。このコーナーでは、「花燃ゆ」に関する皆さんの疑問に答えます。

Q. 榎取素彦と美和子(文)のお墓はどこにあるの？

A. 初代群馬県令・榎取素彦と美和子(文)の墓は、山口県防府市の大楽寺にあり、二人の墓石は、並んで立っています。

素彦は、明治17年に群馬県令を離職し、東京で元老院議員や貴族院議員、宮中顧問官を歴任します。また、明治天皇第十皇女の貞宮多喜子内親王の養育係を命じられました。素彦と美和子は、多喜子内親王を現在の富岡市にある妙義神社へ避暑にご案内するなど、大切に育てていましたが、明治32年、多喜子内親王は1歳4カ月で亡くなります。

その後、素彦と美和子は山口県三田尻（現在の防府市）を拠点に生活を始めました。素彦は、三田尻から貴族院に登院するなど、晩年まで政務をこなし、大正元年84歳で亡くなりました。また、美和子は、大正10年に78歳で亡くなるまで三田尻で過ごしました。